

平成30年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	「第4次三鷹市基本計画（第1次改定）」の目標達成とEBPMを基礎とした第2次改定の準備	個別事業掲載No	企 — 1
-----	---	----------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 平成30年度は「第4次三鷹市基本計画（第1次改定）」の計画中期（平成27～30年度）の最終年度となることから、目標の達成に向け、経営本部体制のもと、庁内横断的な連携と総合調整、関連する個別計画との検証を行いながら、事業を着実に推進していく。令和元（2019）年度に予定している第2次改定に向けては、三鷹まちづくり総合研究所において将来課題の調査・研究を進めるとともに、政策立案に係る職員力向上の取り組みとして「データ活用による政策形成に向けた研修」を実施し、EBPM（Evidence Based Policy Making：根拠に基づく政策立案）の考え方の定着を図る。また、市民ニーズを的確に把握するため「市民満足度・意向調査」を実施するとともに、市民参加型の検討を進めるための基礎資料として、「三鷹を考える論点データ集」及び「三鷹を考える基礎用語事典」の作成に取り組む。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民満足度・意向調査の実施、三鷹を考える論点データ集の作成、三鷹を考える基礎用語事典の作成 データ活用による政策形成に向けた研修の実施（年1回以上） 三鷹まちづくり総合研究所における将来課題の調査・研究の実施 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	←	論点データ集、基礎用語事典策定作業						発行（12月）					
	←	市民満足度・意向調査の実施 速報値（7月）						報告書の作成（12月）					
	← データ活用研修						→						
	← まちづくり総合研究所研究会の実施						→ 報告書の作成（3月）						
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> 「第4次三鷹市基本計画（第1次改定）」の中期目標（まちづくり指標）達成率60%以上 データ活用による政策形成に向けた研修参加者の理解度80%以上 まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる3つの基本目標の達成 												

中間評価	上半期の実績・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 6月に市民満足度・意向調査を実施し、回答率は46.7%（前回43.0%）となった。また、5月に「三鷹を考える論点データ集2018」作成PTを設置し、若手職員25名の体制で作成作業を開始した。 「三鷹を考える基礎用語事典」は、制度改正や新規事業の追加など、前回作成時点からの変更点を反映させるための校正作業を進めた。データの利活用については、統計等データの活用による政策形成の庁内への浸透を図るため、課長補佐職及び係長職（公募、計20人）を対象とした研修会（全4回の連続講座）を実施した。7月には、まちづくり総合研究所に「市政に関する将来課題の調査研究分科会」を設置し、研究所長（市長）より38名の職員に委嘱状を交付した。 												
	事業評価審査会特記意見							政策会議評価・意見等	基本計画改定に係る市民参加については、論点データ集のプロジェクト・チームによる関わりを継続すること。					
	主管課評価	1	事業評価審査会評価				1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする						

事後評価	【事業量の実績】	<ul style="list-style-type: none"> 市民満足度・意向調査の実施（6月）、三鷹を考える論点データ集・三鷹を考える基礎用語事典の作成（12月） 統計等データの活用による政策形成に向けた研修会の実施（5～7月、受講者20人） 三鷹まちづくり総合研究所における将来課題の調査・研究の実施 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	←	論点データ集、基礎用語事典策定作業						発行（12月）					
	←	市民満足度・意向調査の実施 速報値（7月）						報告書の作成（12月）					
		← データ活用研修						→					
		← まちづくり総合研究所研究会の実施						→ 報告書の作成（3月）					
成果目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 「第4次三鷹市基本計画（第1次改定）」の中期目標（まちづくり指標）達成率52.9% データ活用研修会の実施により、データによる現状把握や分析の重要性が認識され、研修参加者からのアンケートにおいても19人（95%）から研修内容の理解について肯定的な回答が得られた。 まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる3つの基本目標の数値目標は、いずれも未達成 												
事業の総括（主管課）	<p>計画中期のまちづくり指標については、約半数を達成することができた。中期の達成状況等を踏まえ、第2次改定の中で新たな目標値を設定していく。また、総合戦略に掲げる3つの基本目標は、いずれも未達成であったものの、基準としている平成26年度と比較し、2つの項目で改善が図られたことから、総合戦略における取組について、一定の成果があったものと考えている。</p> <p>「三鷹を考える論点データ集2018」を活用した市民意見収集の取組では、計408人から358件の意見を収集した。令和元（2019）年度は、収集した市民意見とともに、市民満足度・意向調査の結果等も踏まえながら、第2次改定作業に取り組む。</p> <p>「三鷹を考える基礎用語事典2018」は、市政全般に関する情報を網羅的に掲載し、市民の情報収集ツールとして電子書籍版で発行した。</p> <p>データ活用研修会については、19人（95%）の参加者から研修内容の理解について肯定的な回答が得られた。今後、次年度の基本計画の改定を踏まえ、継続的な取組として実施する。</p>												
事業評価審査会評価・意見等							予算執行	30年度予算			30年度実績		
								予算額			7,368千円		
								決算額			6,385千円		
								執行率（%）			86.7%		
主管課評価	1	事業評価審査会評価				1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）						

平成30年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	持続可能な自治体経営を支えるための行財政改革の推進										個別事業 掲載No	企	—	2		
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 構造的な財政基盤の厳しさに直面するとともに、将来の技術革新やライフ・ワーク・バランス社会の実現など、自治体経営を取り巻く環境の大きな変化が想定される中、持続可能なまちづくりの推進と市民サービスの質の向上を図るためには、これからの行財政改革の方向性を幅広い視野で考えていくことが必須である。 こうした観点に立ち、平成30年度は、事業の特性に応じた事務事業の棚卸しを行い、EBPMの考え方に基づき客観性をもって事業を評価・検証しつつ、課題や取り組みの方向性を整理していくとともに、行政の役割分担の見直しや効果的なサービス提供の在り方について検討を進める。また、「新・行財政改革アクションプラン2022」計画中期（平成27～30年度）の目標達成に向けた庁内調整を積極的に推進するほか、業務改善に向けた所管部署の取り組みや職員提案の実効性を更に高めるため、「対話による創造的事業改善」の改善に取り組む。</p> <p>【事業量】 ・予算編成時における全事務事業の評価・検証 ・セルフチェックシート改善に向けた検討</p>														
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	← 行財政改革の方向性の検討				← 職員提案の実施及び事業化の検討				← 全事務事業の評価・検証				← セルフチェックシートの改善			
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「新・行財政改革アクションプラン2022」中期目標の達成率95%以上 ・全事務事業の評価・検証と今後の行財政改革の方向性の検討 ・セルフチェックシートの改善と10件以上の職員提案の事業化 															
中間評価	上半期の実績・課題等	行財政改革の方向性を検討するとともに、全事務事業について実施根拠や財源などの基本情報を整理する「事務事業の棚卸し」に着手するなど、「新・三鷹市行財政改革アクションプラン2022」の改定に向けた取り組みを進めた。また、5月から約1か月間、職員提案を募集し28人からのべ45件の提案を受け付けた。今後、提案の精査と実現に向けた検討を進めていく。さらに、所管課によるセルフチェック機能向上に向けたシートの改善や、行財政改革の方向性について検討を行った。														
	事業評価 審査会 特記意見												政策会議 評価・意見等			
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする										
事後評価	【事業量の実績】	行財政改革の方向性を検討するとともに、全事務事業(1,116事業)について実施根拠や財源などの基本情報を整理する「事務事業の棚卸し」を実施するなど、「新・三鷹市行財政改革アクションプラン2022」の改定に向けた取り組みを進めた。														
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	← 職員提案の実施及び事業化の検討				← 全事務事業の評価・検証（棚卸）				○各課への照会（実施根拠の調査）							
	成果目標の 達成状況	新・行財政改革アクションプラン2022の中期達成率は96.1%となり、目標を達成した。 全事務事業(1,116事業)について、事業の実施根拠や財源構成などの基本情報を整理した。 また、職員提案制度では、28名からのべ45件の提案が寄せられ、7件が事業化に至った。														
	事業の総括 (主管課)	新・行財政改革アクションプラン2022の中期達成率は96.1%となり、目標を達成した。 また、職員提案制度では、28名からのべ45件の提案が寄せられ、7件が事業化に至った。 全事務事業の実施根拠や財源構成等の基礎情報を整理する「事務事業の棚卸し」を実施し、統計データ等客観的な根拠に基づく政策形成（EBPM）の考え方に基づく「新・三鷹市行財政改革アクションプラン2022」の改定に向けた取り組みを進めた。新・行財政改革アクションプラン2022の中期目標は達成したが、セルフチェックシートの改善については、引き続き検討を進める必要がある。職員提案については、応募要件の緩和等により多くの提案が寄せられる環境が整ってきたため、今後は提案の事業化を促進するための工夫を検討する必要がある。														
事業評価 審査会 評価・意見等												予算 執行	30年度予算		30年度実績	
								0千円		0千円						
								0千円		0千円						
								執行率 (%)		0.0%						
主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）											

平成30年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	「市庁舎・議場棟等建替え基本構想」の策定をはじめとした市民センター再整備の推進	個別事業掲載No	企 ー 3
-----	---	----------	-------

当初計画	【事業概要】 市庁舎・議場棟等の建替えについて、「三鷹市庁舎等整備基本構想策定に向けた基本的な考え方」（平成29年8月）を踏まえ、市庁舎・議場棟等整備に向けた基本的な理念や方針、配置プラン案を内容とする基本構想を策定する。策定に当たっては、平成29年度に実施した市民意向調査やまちづくりディスカッションの結果を踏まえるとともに、市民及び専門資格を有する市民によるワークショップや職員意見交換会等を開催するなど、多様な意見の反映に努める。基本構想策定後は、基本構想の内容をより具体化する基本計画の策定に着手する。 また、市民センター、SUBARU総合スポーツセンター、元気創造プラザの利便性向上に向け、市民センター内に立体駐車場の整備工事を行い、その後、駐輪場・和洋弓場の整備工事に着手する。
	【事業量】 ・市民及び専門資格を有する市民によるワークショップの実施 ・職員意見交換会及びアンケートの実施 ・広報特集号の発行 ・基本計画策定に向けた委託業務 ・立体駐車場の整備 ・駐輪場・和洋弓場の整備
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○専門家WS ○市民WS ○広報特集号・パプコメ ○広報特集号 職員意見交換会・アンケート ○基本構想素案 ○基本構想 基本計画策定支援業務 立体駐車場整備工事 駐輪場・和洋弓場整備工事
成果目標	・基本構想の策定 ・基本計画策定に着手 ・立体駐車場整備工事の完了、駐輪場・和洋弓場整備工事の着手

中間評価	上半期の実績・課題等	庁舎・議場棟等建替えについて、基本構想策定に向け市民及び専門資格を有する市民によるワークショップを4月と6月に行った。また、職員参加の取り組みとして職員意見交換会（4月）及びアンケート（5月）を実施した。さらに、市民センター内の立体駐車場整備工事については、4月から本格的に工事を進めている。 一方、基本構想の策定期間については、年内を目指していたが日本郵便との協議状況を踏まえ見直すこととし、下半期に詳細検討を行っていく。		
	事業評価審査会特記意見	政策会議 評価・意見等	構想の策定にあたっては、市民サービスの継続を前提としながら、コストの圧縮、市内事業者の受注機会等に配慮した協議・検討を進めること。	
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1

事後評価	【事業量の実績】 ・市民及び専門資格を有する市民によるワークショップの実施（平成30年4月、6月）・職員意見交換会及びアンケートの実施（平成30年5～6月）・立体駐車場整備（平成30年4月～平成31年1月）・駐輪場・和洋弓場整備工事（平成31年1月～）			
	スケジュール 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 ○専門家WS ○市民WS 職員意見交換会・アンケート 日本郵便(株)との協議 立体駐車場整備工事 日本郵便(株)との協議 展示コーナーの設置 市民WS 駐輪場・和洋弓場整備工事			
	成果目標の達成状況	・基本構想は、三鷹郵便局との一体的な整備について検討するため、策定期間を年内から令和元（2019）年9月に変更した。このため、基本計画の着手時期も変更となった。 ・立体駐車場整備工事は平成31年1月に完了した。 ・駐輪場・和洋弓場整備工事は平成31年1月に着手した。		
	事業の総括（主管課）	基本構想策定に向け、市民及び専門資格を有する市民によるワークショップ（4/22、6/3）を実施し新庁舎等の配置検討を行うとともに、職員参加の取り組みとして意見交換会やアンケートを行った。その後、8月に懸案となっていた三鷹郵便局との一体的な整備について日本郵便(株)と連携しながら検討を行うこととしたため、基本構想の策定を令和元（2019）年9月、その後、基本計画策定着手へとスケジュール変更した。11月からは事業に関する展示コーナーを設置し、市民周知に努めるとともに、改めて配置検討を行う市民ワークショップ（3/24）を実施した。 立体駐車場整備工事は、1月に工事が完了し供用開始を行った。また、駐輪場・和洋弓場整備工事も予定通り工事に着手した。		
	事業評価審査会評価・意見等	予算執行 30年度予算 30年度実績 予算額 309,424千円 308,934千円 決算額 301,762千円 執行率(%) 97.7%		
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）

平成30年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	ライフ・ワーク・バランス社会の実現に向けた「三鷹版働き方改革応援プロジェクト」の推進	個別事業掲載No	企 — 4
------------	--	-----------------	-------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 「平成29年度 働き方改革支援者派遣モデル事業」の実績等を踏まえ、働き方改革支援者派遣のモデル事業を拡充して実施する。モデル企業それぞれの実情を踏まえた取り組みを推進し、従業員へのアンケート調査などによりその成果を検証する。PR動画の作成、事例発表会の開催、ライフ・ワーク・バランスの推進に特に優れた成果のあった企業の表彰など、その成果の市内企業等への周知・定着を図る。 また、経営者向けの出張説明や無料相談会などにも取り組み、企業・事業所がライフ・ワーク・バランスの実現に向けた取り組みを、自主的に推進していく仕組みづくりを視野に入れて事業を推進する。 さらに、働き方改革応援セミナーの実施や啓発を通して市民のライフ・ワーク・バランス意識を醸成し、自分らしい生き方や様々な働き方を選択できる社会の実現を目指す。</p> <p>【事業量】 ・市内モデル企業等への働き方改革支援者派遣 ・「三鷹版 働き方改革応援セミナー」開催（従業員向け2回） ・企業表彰等の実施 ・PR動画の作成 ・経営者向け出張説明（4回）、無料相談会（4回）の開催</p>											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	モデル企業選定（4～5月） ○支援者養成研修 _____ 支援者派遣（6～12月）、アンケート調査（9～10月） ○連絡調整会議（5、8、11月 ○働き方改革応援セミナー（8、10月） 出張説明（6、8、10、1月）、相談会（出張説明の翌月）→												
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市内モデル企業等への働き方改革支援者の派遣：20社 ・「三鷹版 働き方改革応援セミナー」：参加者目標延べ100人 ・企業表彰等の実施及びPR動画の作成 ・経営者向け出張説明、無料相談会の開催（計8回実施） 												

中間評価	上半期の実績・課題等	平成30年6月に働き方改革支援者20人及び働き方改革アドバイザーを委嘱し、市内事業者17社（平成29年度からの継続6社、新規11社）を働き方改革モデル企業として選定した。その後、8月末までの間に働き方改革支援者を各社に1～2回派遣し、各社における課題及び課題解決の方向性を確認した。今後も派遣を重ね、課題解決を図っていく。各種セミナーや出張説明会・無料相談会については、モデル企業発表会と合わせて、「働き方改革フェスタ（仮称）」として2月に開催し、より多くの方が来場できるよう取り組む。														
	事業評価審査会特記意見				政策会議 評価・意見等			東京都補助金など活用できるメニューを確認し、財源確保を検討すること。								
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする										

事後評価	【事業量の実績】												
	モデル企業（全16社、1社は辞退）への支援者派遣を予定どおり各5回実施し、2月のライフ・ワーク・バランス応援フェスタにおいて、すべてのモデル企業が事例紹介を行うことができた。 また、同フェスタでは、働き方改革アドバイザー及び社会保険労務士によるセミナー（各2回）や社会保険労務士会による無料相談会の実施並びに市及び他団体の働き方改革関連動画の上映を行い、延べ約500人の来場者にライフ・ワーク・バランスの啓発を行うことができた。												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	モデル企業選定（4～6月） ○支援者養成研修 _____ 支援者派遣（6～1月） ○連絡調整会議（8、10、12月）→												
	成果目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市内モデル企業等への働き方改革支援者の派遣：16社×5回 ・「ライフ・ワーク・バランス応援フェスタ in みたか」：参加者延べ約500人 ・PR動画の作成：同フェスタにおいて上映し、3月からYouTubeで公開 ・無料相談会の開催：同フェスタにおいて実施（10組の相談に対応） ・企業表彰等の実施及び経営者向け出張説明は未実施 											
事業の総括（主管課）	平成30年度はモデル企業を16社に拡大（前年度9社）し、支援者による働き方改革の支援を行った。2月には「ライフ・ワーク・バランス応援フェスタ」を開催し、モデル企業の取組事例の発表だけでなく、無料相談会やセミナーを実施した。同フェスタには延べ約500人の方々にご参加いただき、その様子や事業のPR動画を市ホームページやYouTubeに掲載したこととあわせて、広く市民に向けてライフ・ワーク・バランスの取組への機運醸成を図ることができた。本事業は、地方創生推進交付金を活用して実施してきたが、計画期間が平成30年度末で終了することから、今後は社会保険労務士会が実施する働き方改革応援事業に参加する市内企業等に対する補助制度の創設をはじめとする、自ら働き方改革に取り組む市内企業等に対する支援事業を実施していく。												
事業評価審査会評価・意見等				予算執行		30年度予算			30年度実績				
				予算額		4,668千円			5,772千円				
				決算額					4,394千円				
				執行率（%）					76.1%				
主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）								

平成30年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		情報セキュリティ対策の更なる向上とICT環境の整備										個別事業 掲載No	企	—	5						
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 情報セキュリティ対策については、インターネットのリスクに対する更なる強化を図る。さらに、職員研修等により、職員の情報セキュリティ意識を高めるとともにサイバー攻撃等に対する対応力の向上を図り、情報セキュリティシステムの適切な運用を行う。 また、情報基盤システム（職員が使用するパソコン等を稼働させるためのシステム群）については、業務の効率性向上を図りながら情報セキュリティの確保に努め円滑な更改を行う。 Wi-Fi環境の整備に向けた取り組みについては、公共サービス等の推進を図るため、地域BWA（広帯域移動無線アクセス）を活用した実証事業を関係団体と連携して実施する。引き続き、災害時における利活用等を踏まえ、より利便性の高いWi-Fi環境の提供に向けた検討を進める。</p> <p>【事業量】 ・情報セキュリティ研修（職員研修、eラーニング等）の実施 ・情報セキュリティ理解度アンケートの実施 ・情報セキュリティニュースの発行（全6回） ・情報基盤システム、複合機の更改 ・Wi-Fi環境提供に係る方針の策定 ・公衆Wi-Fi（地域BWA）実証事業の実施</p>																			
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月								
	成果目標	<p>○情報セキュリティ職員研修、eラーニング セキュリティニュース発行 ○第1回 ○第2回 ○第3回 ○第4回 ○第5回 ○第6回 ○情報基盤システム構築 → ○地域BWA実証事業開始 ○Wi-Fi環境提供に係る方針案の作成</p> <p>・サイバー攻撃等に係る障害発生件数 0件 ・情報セキュリティ職員研修及びeラーニング参加者数300人以上 ・パソコン等を含めた情報基盤システムの更改</p>																			
中間評価	上半期の実績・課題等	第1回地域情報化推進協議会を開催し、本年度の主要な取り組みについて確認した。情報セキュリティ対策では、新任・嘱託・管理職等職員への研修に加えて、10年次職員及び外郭団体職員への研修を実施した。職員の業務効率性向上に向けて、情報基盤システムの構築、複合機の更改を進め、関係主管課との調整等を行った。Wi-Fi環境の整備では、方針案の検討を進めるとともに、地域BWAに係る実証事業の実施に向けた地域BWA連携協議会を開催した。																			
	事業評価審査会特記意見	ICT環境の整備については、更なる事業費の精査を図ることが望ましい。					政策会議 評価・意見等					運用面やセキュリティ面に十分配慮し、職員の働き方改革の観点からモバイルワークの導入について積極的に検討をすすめること。 会計年度任用職員に係るシステム改修経費については、事業費を精査すること。									
	主管課評価	1	事業評価審査会評価				1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする													
事後評価	【事業量の実績】	<p>・情報セキュリティ研修（職員研修、eラーニング等）の実施 ・情報セキュリティ理解度アンケートの実施（2月～3月） ・情報セキュリティニュースの発行（全6回）・複合機の更改（12月）、情報基盤システムの更改（2月）、地域BWA実証事業の検討、武蔵野・三鷹地域BWA連絡協議会の開催（3月）</p>																			
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月								
	成果目標の達成状況	<p>○情報セキュリティ職員研修、eラーニング セキュリティニュース発行 ○第1回 ○第2回 ○第3回 ○第4回 ○第5回 ○第6回 ○情報基盤システム構築 → ○複合機更改 ○情報基盤システム運用 ○地域BWA実証事業検討 ○Wi-Fi環境提供に係る検討</p> <p>・サイバー攻撃等に係る障害発生件数は、0件 ・情報セキュリティに関する新任職員・嘱託員研修（63人）、入庁10年次研修（24人）、新任管理職・係長研修（33人）、ISMS・PIA研修（75人）及びeラーニング参加者（105人）合計300人 ・複合機の更改に伴い認証印刷を導入（12月） ・パソコン等を含めた情報基盤システムの更改（2月）</p>																			
	事業の総括（主管課）	三鷹市地域情報化推進協議会を3回開催し、本年度の取り組み内容や今後の方向性等について検討を進めた。情報セキュリティについては、職員研修やe-learningの実施により研修内容の充実を図るとともに情報セキュリティニュース（計6号）を発行し、職員の意識向上に努めた。その結果、職員研修及びe-learningの参加者は、目標である合計300人を達成した。12月には、11課でISO27001（ISMS）の更新審査を受け認証を継続した。2月～3月には、職員に向けた情報セキュリティ理解度アンケートを実施し、情報セキュリティ8箇条の理解度は、98.7%となった。人的セキュリティ対策及び技術的セキュリティ対策の向上に努めた結果、サイバー攻撃等に係る障害発生件数0件を達成した。また、職員の業務効率性向上を図るため、職員が利用するパソコンを含めた情報基盤システムの更改を行うとともに、情報セキュリティの向上や紙使用量の削減、運用コストの削減等を目的として複合機の更改を行った。地域BWAについては、事業者の基地局設置工事の状況等を踏まえ実証事業の検討を進めた。																			
事業評価審査会評価・意見等						予算執行	30年度予算					30年度実績									
主管課評価	1	事業評価審査会評価				1	予算額	571,128千円					570,567千円								
						決算額						477,150千円									
						執行率(%)						83.6%									
	1	1				S	計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）														

平成30年度 「各部の運営方針と目標」掲載 <<個別事業評価表>>

事業名		「新しさ」と「使いやすさ」を目指す市ホームページのリニューアル										個別事業掲載No		企 — 6																																
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 平成31年3月に前回リニューアルから10年を迎える市ホームページについて、ウェブアクセシビリティの品質とこれまでの改修による機能追加等の成果を継承しつつ、利用者の誰もが「新しさ」と「使いやすさ」を実感できるようリニューアルを行う。パソコン版、スマートフォン版のデザインを一新し、サイト内検索機能を強化するほか、TwitterとFacebookへの情報拡散が可能なソーシャルボタンを全ページに追加し、リニューアル後はホームページ更新情報や無料動画共有サイトYouTubeへの配信情報等を市公式Twitterで随時配信する。</p> <p>【事業量】 ・画面設計案の検討 ・デザイン作成 ・プログラム修正 ・動作検証 ・Twitterの運用方針改訂 ・リニューアル公開</p>																																												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																	
	成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン版、スマートフォン版ホームページのデザイン一新 ・高度な検索が可能な新たなサイト内検索ソフトの導入 ・Twitterの運用方針改訂 ・リニューアル公開 ・リニューアル公開後のアクセス件数向上（前年同期比） 																																												
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>アクセスログの分析によるトップページ表示要素の整理やレイアウト変更などを検討し、パソコン版、スマートフォン版、それぞれのデザイン作成を進めた。今後は、新たなサイト内検索システムの追加やデザイン変更に伴うプログラム修正を行うため、確実な動作確認が必須となっている。また、情報拡散機能の充実を図るため、リニューアル公開前にTwitterの運用方針を改訂する。</p>																																												
	事業評価審査会特記意見	<p>政策会議 評価・意見等</p>																																												
	主管課評価	3	事業評価審査会評価										3	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする																																
事後評価	【事業量の実績】	<ul style="list-style-type: none"> ・Twitterの運用方針改訂（12月3日） ・リニューアル公開（12月15日） 																																												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																	
	成果目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・Twitterの運用方針改訂（H30.12.3）、発信内容拡充（気象情報、防犯情報、市ホームページ更新情報、無料動画共有サイトYouTube配信情報、「広報みたか」発行案内） ・リニューアル公開（H30.12.15） ページデザイン一新、トップページにスライダーエリア新設、サイト内検索ソフトの刷新、イベントカレンダーの新設、SNSへの連携ボタン設置など ・リニューアル公開後のトップページアクセス件数 H31.1月155,373件（H30.1月58,845件） 																																												
	事業の総括（主管課）	<p>すべての作業をおおむね当初のスケジュールどおりに進め、予定どおり12月中旬にリニューアル公開することができた。公開後も不具合等のトラブルはなく、利用者からの評判も良好である。今回のリニューアルではシステムの入替えは行わず、デザイン改修と機能追加に特化したことから、システムの安定的な運用を継続しながら安価で効果的な改修が実現できた。新たに導入したサイト内検索システムでは、検索対象の絞り込みや並べ替え、検索ワードランキングの表示などを可能とし、利用者の利便性向上を図った。平成31年1月のトップページアクセス件数は155,373件で、前年同月比96,528件（164%）の増となった。</p> <p>Twitterの運用方針改訂後は「広報みたか」や市ホームページの更新内容のうち、特に市民の関心が高い情報を発信するとともに、警視庁が発表する防犯情報についても適宜発信するなど、Twitterの特性を生かした迅速な情報提供に努めている。</p>																																												
事業評価審査会評価・意見等	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">予算執行</th> <th colspan="4">30年度予算</th> <th colspan="4">30年度実績</th> </tr> <tr> <td>予算額</td><td colspan="3">7,206千円</td> <td>実績額</td><td colspan="3">7,206千円</td> </tr> <tr> <td>決算額</td><td colspan="3"></td> <td>達成率</td><td colspan="3">99.8%</td> </tr> <tr> <td>執行率（%）</td><td colspan="3"></td> <td>達成率</td><td colspan="3">99.8%</td> </tr> </thead> </table>													予算執行	30年度予算				30年度実績				予算額	7,206千円			実績額	7,206千円			決算額				達成率	99.8%			執行率（%）				達成率	99.8%		
予算執行	30年度予算				30年度実績																																									
	予算額	7,206千円			実績額	7,206千円																																								
	決算額				達成率	99.8%																																								
	執行率（%）				達成率	99.8%																																								
主管課評価	1	事業評価審査会評価										1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																																	

平成30年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		市政への共感と信頼に基づく「まちづくり応援寄付」の推進											個別事業 掲載No	企 — 7			
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 ふるさと納税制度による市民税の大幅な減収が続いていることから、三鷹市ならではの寄付文化の醸成を図るため、引き続き、平成29年11月にリニューアルした三鷹市ホームページの「ふるさと納税特設サイト」や広報みたかなどで積極的に三鷹市の取り組みをPRする。また、三鷹の魅力を全国に発信する事業においてクラウドファンディングを活用するなど、三鷹市の事業に共感していただける方などから広く寄付を募る。</p> <p>【事業量】 ・時期や実施事業に合わせた「ふるさと納税特設サイト」でのPR ・広報みたかによるまちづくり応援寄付金のPR</p>															
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
		← クラウドファンディングの実施① →						← クラウドファンディングの実施② →									
	成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税による寄付の受入件数150件以上 クラウドファンディングの実施2事業以上 															
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>三鷹市ゆかりの文学者顕彰事業に係るクラウドファンディング及び平和推進事業に係る「平和事業特別PR期間」を実施し、寄付を募った。</p> <ul style="list-style-type: none"> クラウドファンディング 期間：平成30年6月1日～8月31日、目標額：1,000千円 【受入実績：195千円（12件）】 平和事業特別PR期間 期間：平成30年7月1日～9月30日 【受入実績：115千円（6件）】 															
	事業評価審査会特記意見														政策会議 評価・意見等	まちづくり応援寄付については、三鷹市立アニメーション美術館（ジブリ美術館）や国立天文台、スポーツと文化財団等と連携した返礼品についても検討を進めること。	
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする												
事後評価	【事業量の実績】	<ul style="list-style-type: none"> 「ふるさと納税特設サイト」でのふるさと納税の周知 広報みたか、みるみる三鷹、みたかくちこみテレフォンでの「まちづくり応援寄付金」のPR 															
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
		○三鷹市ゆかりの文学者顕彰事業に係るクラウドファンディング						○広報みたか（1面） ○みたかくちこみテレフォン									
		○平和事業特別PR期間															
		○みるみる三鷹															
	成果目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税による寄付の受入件数 61件 クラウドファンディングの実施 1件 「平和事業特別PR期間」設置による三鷹市への寄付のPR 															
	事業の総括（主管課）	<p>ふるさと納税による寄付については、61件（10,838,997円）の受入実績となった。クラウドファンディングについては、平成29年度の実績を踏まえた上で、全国的に賛同を得られる事業として、三鷹市ゆかりの文学者顕彰事業に係るクラウドファンディングを実施した。目標金額達成には至らなかったが、事業に賛同いただいた方々から19万5千円（12件）の寄付をいただいた。また、8月の平和強調月間を含む7月1日から9月30日までの3ヶ月間で「平和事業特別PR期間」を実施し、11万5千円（6件）の寄付をいただいた。今後は、国によるふるさと納税制度の見直しの動向を注視しながら、効果的かつ多くの方々が積極的に参加いただける寄付について、検討を進めていく。</p>															
	事業評価審査会評価・意見等														予算執行	30年度予算	30年度実績
															予算額	472千円	608千円
															決算額		393千円
															執行率（%）		64.6%
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）												

平成30年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名	三鷹ネットワーク大学推進機構の「教育・学習」「研究・開発」「窓口・ネットワーク」機能の充実に向けた協働の推進						個別事業掲載No	企 ー 8					
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構の3つの機能の充実を図り、「民学産公」のそれぞれが持つ知的資源を最大限に活かした高度な学びの機会の提供や、地域に密着した特色ある講座等の実施による地域人財の育成を図る。また、国立天文台と連携した「三鷹の森 科学文化祭」などの魅力的なイベントや「協働サロン」における研究会の開催などを通じ、多元的で多層的な人的交流の場やコミュニケーション機会を提供することで、新たな出会いやマッチング機会の創出を図る。さらに、まちづくり総合研究所において、第4次三鷹市基本計画の2次改定を見据えた将来課題の調査・研究に取り組むとともに、引き続き「民学産公」協働研究事業をはじめとしたビジネス・インキュベーター事業に取り組む。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座等の実施（200件程度） ・「民学産公」協働研究事業の実施 ・みたか太陽系ウォークの実施 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	<p>・講座等の実施</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">・協働研究事業募集開始</p> <p style="text-align: center;">・みたか太陽系ウォーク</p> <p style="text-align: right;">・中間報告会</p> <p style="text-align: right;">成果報告会</p>												
成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「民学産公」協働研究事業の採択件数10件程度 ・講座の充実による、新規受講登録者数900人及び受講者満足度90%以上 												
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>正会員・賛助会員等と連携し、食料ロスなど市民の関心が高い講座等を開催した。協働研究事業については、5～6月に募集・選考を行い、5団体を採択した。みたか太陽系ウォークについては、太陽系サポーターを新たに募集するなど、さらなる事業の充実を図っている。三鷹まちづくり総合研究所については、三鷹ネットワーク大学推進機構と連携し、「市政に関する将来課題の調査研究分科会」を設置した。</p>											
	事業評価審査会特記意見							政策会議 評価・意見等	<p>第4次三鷹市基本計画の第2次改定にあたっては、三鷹ネットワーク大学の「民学産公」の機能を活かし、正会員、賛助会員からの意見を収集する機会を設けること。</p>				
	主管課評価	1	事業評価審査会評価				1	<p>1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする</p>					
事後評価	【事業量の実績】	<ul style="list-style-type: none"> ・講座等の実施（講座件数：230件、申込者数：11,900人） ・「民学産公」協働研究事業の実施（5件） 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	<p>○講座等の実施（通年）</p> <p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">○協働研究事業募集開始</p> <p style="text-align: center;">○みたか太陽系ウォーク（9.21～10.28）</p> <p style="text-align: right;">○中間報告会（11.2） 成果報告会（3.1）○</p>												
	成果目標の達成状況	<p>各種講座等については、講座内容の充実やPRを図ったことにより、新規受講登録者数874人及び満足度88.2%となった。協働研究事業では、正会員・賛助会員の大学・企業・団体等と5つの実証実験（協働事業）を行った。みたか太陽系ウォークについては、太陽系サポーターによる運営支援のほか、様々な団体との連携等により、満足度は昨年度から2.9ポイント増の92.9%となった。</p>											
	事業の総括（主管課）	<p>講座等については、講座数230件、講座申込者数延べ11,900人で、新規受講登録者数は874人、受講者満足度は88.2%と昨年度と比べると1.5ポイントの増となった。また、「民学産公」協働研究事業については、5事業の実証実験を実施するなど、民学産公による知的資源を活用した新技術、新システム、新しい製品の開発による、地域に根差した産業の支援や創出に取り組んだ。みたか太陽系ウォークについては、節目となる第10回の開催を記念して特別賞の設置や特別イベントを実施したほか、約30人の「太陽系サポーター」によりイベントの運営支援を行うなど、コミュニケーション機会の提供や満足度の向上に向けて取り組んだ。このほか、「2025年問題」に関するこれまでの取組を踏まえつつ、超高齢社会に向けた三鷹市の地域力の向上に資する研究を進めるとともに、『人生100年時代の地域ケアシステムー三鷹市の地域ケア実践の検証を通してー』の令和元(2019)年の出版に向けた取り組みを進めた。</p>											
事業評価審査会評価・意見等	「三鷹まちづくり総合研究所」事業等を活用し、引き続き、超高齢社会における地域課題等の解決に向けた検討を進めること。						予算執行	30年度予算		30年度実績			
							予算額	76,169千円	76,169千円				
							決算額		65,450千円				
							執行率(%)		85.9%				
主管課評価	1	事業評価審査会評価				1	<p>S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）</p>						

平成30年度 「各部の運営方針と目標」掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		基礎自治体としての平和、男女平等参画、国際化施策の推進											個別事業 掲載No	企 — 9			
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 戦争体験者の高齢化等を鑑み、戦争体験談のアーカイブ化をより推進し、みたかデジタル平和資料館のコンテンツを充実する。8月には引き続き、関連団体との協働により平和強調月間における平和のつどいを開催し、例年1週間程度としていた展示を1ヶ月に拡充する。また、新たな寄贈品を中心とした「みたか平和資料コーナー」の設置、各種展示、講座等を実施するなど、基礎自治体として市民の平和意識の醸成に努める。 三鷹市男女平等参画条例の基本理念の1つである「人権の尊重」の視点から、男女平等参画講座、啓発誌「Shall we?」の発行、ドメスティック・バイオレンスの防止や、多様な性への理解と差別の防止に係る取り組みを推進する。 国際化については、みたか国際化円卓会議の議論を踏まえ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催後も見据えて、外国語版生活ガイドの更新、国際交流、観光分野の自治体広域連携事業の取り組みにより、情報発信、外国人観光などの課題に三鷹国際交流協会、みたか都市観光協会等と連携して取り組む。</p> <p>【事業量】 ・戦争体験談の収録と公開 ・男女平等参画講座等の実施 ・外国語版生活ガイドの更新</p>															
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	成果目標	<p>・戦争体験談10件以上の収録と公開 ・男女平等参画講座等：参加者目標延べ200人以上 ・外国語版生活ガイドの更新</p>															
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>平和事業では、本庁舎3階に「みたか平和資料コーナー」を設置、8月に「みたかデジタル平和資料館」へ戦争体験談の追加、平和のつどい、平和展（8/1～31）を予定どおり実施した。下半期に実施する平和カレンダー事業では配布方法等に工夫をし実施したい。男女平等参画事業では、内閣府の男女共同参画週間に合わせたパネル展の実施、男女平等参画のためのみたか市民フォーラムの開催、三鷹市男女平等参画審議会等を開催した。国際化推進については、みたか国際化円卓会議を開催し、「観光」をテーマに議論いただいた。</p>															
	事業評価 審査会 特記意見														政策会議 評価・意見等	「みたか平和資料コーナー」の展示については、来庁者からの意見収集を行い、今後の運営の参考とすること。	
	主管課評価	1	事業評価審査会評価											1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする		
事後評価	【事業量の実績】	<p>・戦争体験談の収録10件12人、公開8件10人 ・男女共同参画週間パネル展1回、男女平等参画のためのみたか市民フォーラム2回 ・外国語版生活ガイドの更新</p>															
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
	成果目標の 達成状況	<p>・戦争体験談の収録10件12人、公開8件10人 ・男女共同参画週間パネル展来場者425人、男女平等参画のためのみたか市民フォーラム（第1回132人、第2回41人）合計598人 ・外国語版生活ガイド更新済</p>															
	事業の総括 （主管課）	<p>平和、男女平等参画、国際化施策の全ての事業について、目標を達成することができた。平和事業では、8月の平和展の拡充（1週間程度から1か月へ）、3月の東京空襲資料展では、前後期での展示物の入替など工夫して実施した。戦争体験談は、10件（12人）の収録と8件（10人）の公開を行った。男女平等参画事業は、より効果的に実施するため、中規模講座（男女平等参画のためのみたか市民フォーラム）1回、小規模講座（男女平等参画講座）2回を中規模講座2回の開催に見直した。その結果、3事業の参加者100人（平成29年度実績）が2事業で173人に増加するなど、男女平等参画事業全体で延べ598人に参加していただいた。また、男女平等参画啓発誌「Shall we?68号」では、初めて多様な性のあり方をテーマに、市長とLGBT当事者による座談会の特集を掲載した。外国語版生活ガイドは、平成30年1月に開催したみたか国際化円卓会議でのご意見等を反映し、予定どおり改訂し、発行した。</p>															
	事業評価 審査会 評価・意見等														予算 執行	30年度予算	30年度実績
主管課評価	1	事業評価審査会評価											1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）			
															予算額	36,557千円	32,274千円
															決算額		27,726千円
															執行率(%)		85.9%

平成30年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 ≪個別事業評価表≫

事業名		住民情報システムの共同利用（自治体クラウド）の推進										個別事業 掲載No	企 — 10																
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 令和3（2021）年度に予定している住民情報システム（住民記録、税、保険、福祉等の市民窓口で使用するシステム）の更改にあたり、更なる住民サービスの向上や運用コストの削減等を図るため、3市（三鷹市、立川市、日野市）による共同事業として、自治体クラウド（システムの共同調達・共同利用）導入に向けた取り組みを進める。</p> <p>自治体クラウドの取り組みを進めるに当たっては、①住民サービスの向上、②システム運用経費の削減、③業務の標準化・効率化、④情報セキュリティ及び災害時における事業継続性の向上等の諸課題を解決することを目的として、3市による検討を行うとともに、必要な準備・対応を行う。</p> <p>【事業量】 ・基本計画の策定及び各業務システムにおける要件定義書案の作成に関する検討会議を実施（計20回） ・対象業務の業務要件の整理及び業務フロー作成等に関する検討会議を実施（約65業務×4～6回） ・関係部署の職員向け研修会及び他団体職員向け説明会を実施（各2～3回）</p>																											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																
	成果目標	<p>・業者選定 → ・検討会議（基本計画、要件定義書案作成） →</p> <p>・検討会議（業務要件整理、業務量分析、業務フロー作成等） →</p> <p>・研修会 ・説明会 ・研修会 ・説明会 ・説明会</p> <p>・予算化検討（RFI実施等） ・協議会設置検討</p> <p>・基本計画の策定 ・業務標準化・効率化に向けた業務要件の整理及び業務フロー等の作成 ・各業務システムにおける要件定義書案の作成</p>																											
中間評価	上半期の実績・課題等	<p>平成30年4～5月にかけて3市共同で支援事業者の選定を行い、6月より業務要件整理の事前作業（業務システム調査、業務要件調査及び業務フローの作成）に着手した。7月には関係部署の課長職及び担当者を集めたキックオフ会議を開催し、各業務（計75業務）のWGを設置のうえ、WG単位で業務要件の整理（業務差異の検討）、共通業務フローの作成等を行った。今後は、業務要件書の作成、RFIの実施、基本計画書の策定及び協議会設置に向けた準備・対応を進める。</p>																											
	事業評価審査会特記意見	<p>政策会議 評価・意見等</p>																											
	主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする																							
事後評価	【事業量の実績】	<p>・基本計画の策定及び各業務システムにおける要件定義書案の作成に関する検討会議を実施（約40回実施） ・対象業務の業務要件の整理及び業務フロー作成等に関する検討会議を実施（約65業務で約170回実施）</p>																											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																
	成果目標の達成状況	<p>・①住民サービスの向上、②システム運用経費の削減、③業務の標準化・効率化、④情報セキュリティ及び災害時における事業継続性の向上等の諸課題の解決に向けた住民情報システム共同利用（自治体クラウド）の指針となる基本計画書案を策定した。 ・業務標準化・効率化に向けた業務要件の整理及び業務フロー等を作成した。 ・各業務システムにおける要件定義書（帳票要件書）の作成作業に着手した。</p>																											
	事業の総括（主管課）	<p>平成30年度は、①業務標準化・共通化に向けた検討、②RFI（情報提供依頼）の実施、③基本計画書案の策定、④帳票要件の整理等の住民情報システム共同利用（自治体クラウド）に向けた具体的な作業を行った。住民記録や各税等を始めた各業務の主管課を中心とした検討を行うため、6月に職員向け全体会議（キックオフ）を実施したうえで、共同化の対象となる65業務について、14のワーキンググループと43のサブワーキンググループを作成し、7月から9月にかけて延べ172回の打合せを実施した。3市の運用の差異を比較し、業務要件の整理及び業務フロー等の作成や要件定義書（帳票要件書）の作成に着手するとともに、調達の指針となる基本計画書案を策定した。また、平成31年1月には、3市による合意形成を円滑に進めるために、共同の組織である「東京都多摩地域三市住民情報システム共同利用運営協議会」を設立するなど、令和元（2019）年度の業者選定に向けた準備及び体制の整備を図った。</p>																											
	事業評価審査会評価・意見等	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">予算 執行</th> <th colspan="2">30年度予算</th> <th colspan="2">30年度実績</th> </tr> <tr> <th>予算額</th> <th>31,320千円</th> <th>31,320千円</th> <th>31,320千円</th> </tr> <tr> <th>決算額</th> <th></th> <th>28,504千円</th> <th></th> </tr> <tr> <th>執行率（%）</th> <th></th> <th></th> <th>91.0%</th> <th></th> </tr> </thead> </table>											予算 執行	30年度予算		30年度実績		予算額	31,320千円	31,320千円	31,320千円	決算額		28,504千円		執行率（%）			91.0%
予算 執行	30年度予算		30年度実績																										
	予算額	31,320千円	31,320千円	31,320千円																									
	決算額		28,504千円																										
執行率（%）			91.0%																										
主管課評価	1	事業評価審査会評価		1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）																								

平成30年度 「各部の運営方針と目標」 掲載 <<個別事業評価表>>

事業名	「三鷹市の適正な債権管理の推進に関する条例」の趣旨の普及と定着	個別事業掲載No	企 — 11
-----	---------------------------------	----------	--------

当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】</p> <p>「三鷹市の適正な債権管理の推進に関する条例」の趣旨の普及と定着を図るため、「よりそい・さいけん運動」として、市民の財産である「さいけん（債権）」管理のあり方を点検・検証するとともに、納付相談等を通して市民に「よりそい（寄り添い）」、生活の「さいけん（再建）」につなげていく。納付勧奨等を通して、納付を失念している債務者の気づきを促すとともに、納付相談により債務者の置かれている状況を十分に把握し、専門の窓口へつなげるなど、きめ細かな対応を図っていく。また、納付勧奨から分納誓約や債権放棄等に至るまでの各債権のライフサイクルの更なる適正化を図る。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「よりそい・さいけん運動」連絡会の設置、開催（年3回） ・担当者向け説明会の実施（年2回） ・「よりそい・さいけん運動」の実績とりまとめ 											
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉部門との連携による債権管理の推進 ・収入未済額の抑制 											

中間評価	上半期の実績・課題等	平成30年4月に条例に係る説明会を実施した。5月には「よりそい・さいけん運動」連絡会を設置し、第1回目の連絡会議を開催するなど、条例の趣旨や今後の取り組み等について全庁的な周知を図った。また、出納整理期間である4・5月に収入未済額（現(29)年度分）に係る取り組みを集中的に行うとともに、9月の第2回連絡会議において取り組み結果の確認・評価を行った。											
	事業評価審査会特記意見	政策会議 評価・意見等											
	主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする								

事後評価	【事業量の実績】												
	「よりそい・さいけん運動」連絡会の設置、連絡会の開催（2回）、担当者説明会の開催（2回）、債権の放棄												
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	成果目標の達成状況	<p>「よりそい・さいけん運動」連絡会の設置（構成員15名）</p> <p>連絡会の開催（5/18、9/26）</p> <p>担当者説明会の開催（4/27 29名参加、10/15 25名参加）</p> <p>債権放棄（27債権、438人、20,304,767円）</p>											
	事業の総括（主管課）	<p>「三鷹市の適正な債権管理の推進に関する条例」の趣旨の普及と定着を図るため「よりそい・さいけん運動」連絡会を設置し、連絡会議を2回開催したほか、担当者説明会を2回開催し、条例の趣旨や「よりそい・さいけん運動」の進め方等について全庁的な周知を図った。また、出納整理期間である4・5月に現年度分、10月～3月に原則2回、滞納繰越分の収入未済額に係る取り組みを集中的に実施するなど、納付勧奨等を通して、納付を失念している債務者の気づきを促すとともに、納付相談により債務者の置かれている状況を十分に把握し、専門の窓口へ繋げた。さらに、納付勧奨から債権放棄等に至るまでの検証を行い、条例に基づき年度末に「私債権」の放棄を行った。</p>											
	事業評価審査会評価・意見等							予算執行	30年度予算			30年度実績	
主管課評価	1	事業評価審査会評価	1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）									

平成30年度 「各部の運営方針と目標」掲載 <<個別事業評価表>>

事業名		オープンデータの積極的な提供とビッグデータの効果的な活用												個別事業 掲載No	企 — 12	
当初計画	事業概要・事業量	<p>【事業概要】 平成29年度に策定した「三鷹市オープンデータの推進に関する取組方針」に基づき、市が保有する行政情報のオープンデータ化を推進する。市民、事業者等のニーズに即して公開するデータの種類を拡大するとともに利活用しやすい形式によるデータの提供など、オープンデータカタログページの充実を図る。また、職員向けの研修会を行い、オープンデータの推進に関する全庁的な理解や意識啓発を図る。 なお、行政機関や民間企業が保有する多種多様な膨大なデータである「ビッグデータ」については、利活用における技術動向や先進事例の把握に努めるとともに、国が提供する地域経済分析システム（RESAS：リーサス）、政府統計の総合窓口（e-Stat：イースタット）、地図で見る統計（jSTAT MAP：ジェイスタットマップ）等を用いて地域分析や政策提案の検討を行う。</p> <p>【事業量】</p> <ul style="list-style-type: none"> オープンデータカタログページの更新（年2回程度） 職員向け研修会の実施（各課1～2名程度） ビッグデータの利活用に向けた検討 														
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	成果目標	<ul style="list-style-type: none"> オープンデータカタログページの新規公開データ10件以上 ビッグデータの利活用に向けた検討（課題設定、分析手法等） 														
中間評価	上半期の 実績・課題等	<p>市民部や子ども政策部などの庁内の主要なデータ所管課と調整し、平成30年7月には新たに町丁別や年齢別等の人口報告書、市内の認可保育園等一覧など、14件、59ファイルの掲載を行った。なお、データの掲載に当たっては、オープンデータ管理運用会議や三鷹市地域情報化推進協議会の意見を踏まえて、カタログページの掲載順や表示方法を見直すとともに、掲載時期を早期化するなどの調整を行った。</p>														
	事業評価 審査会 特記意見	<p>政策会議 評価・意見等</p>														
	主管課評価	1	事業評価審査会評価												1	1 重点的に取り組む 2 経常業務の一環として取り組む 3 見送ることとする
事後評価	【事業量の実績】	<ul style="list-style-type: none"> オープンデータの拡充（7月、2月） ・データ数：17件、154ファイル ・アクセス件数：12,702件（平成30年度） オープンデータ説明会の開催（1月、54人受講） ・データ利活用について市民意見聴取（6月、三鷹市地域情報化推進協議会） 														
	スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
	成果目標の 達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 7月及び2月の追加データの掲載により、平成30年度全体としては年齢別人口や予算・決算情報など新たに15件の新規データを掲載した。これにより、平成31年3月末時点での公開データは17件、154ファイルとなった。 三鷹市地域情報化推進協議会等において、庁内の各課が保有しているデータの分析手法等の検討を進めた。 														
	事業の総括 (主管課)	<p>平成29年度に策定した「三鷹市オープンデータの推進に関する取組方針」に基づき、オープンデータの優先公開データを選定し、年齢別人口や予算・決算情報など新たに15件のデータをオープンデータとして公開した。次年度以降も、利用ニーズの高いデータの掲載やデータレイアウト等の見直しなど、オープンデータの拡充を行うとともに、庁内への浸透を図るため職員説明会を継続して実施する。 ビッグデータについては、国の動向及び先進事例等の把握に努めながら、庁内横断的なデータ分析手法について検討を行った。</p>														
	事業評価 審査会 評価・意見等			予算 執行	30年度予算		30年度実績									
主管課評価	1	事業評価審査会評価												1	S 計画以上 1 計画どおり 2 計画の7割未満 3 その他（取組方針の変更等）	